

2026年11月  
 22 (日) | 23 (月) | 24 (火) | 25 (水)  
 神事のみ 10時～18時

虎捕祭  
 (演劇、茶屋、屋台、神事)  
 10時～18時

# 虎捕祭

山津見神社 山御講

狼の伝説が息づく山津見神社にて  
 山の神様に祈りを捧げる  
 伝統と革新のまつり

主催 虎捕祭 世話人会  
 制作 図図倉庫  
 令和8年度  
 ふるさと・きずな  
 維持再生支援事業

場所 山津見神社  
 福島県相馬郡飯館村  
 佐須字虎捕66  
 原ノ町駅から車で50分  
 霊山飯館ICから車で10分  
 飯館村  
 福島駅から車で60分

現代美術作家  
 鴻池朋子  
 オオカミベンチ  
 Wolf Bench  
 オオカミの形をしたベンチで、座ると動物のかたちと溶け合っただけとなり、人が座ることによって初めて完成する、共生する作品。昨今の環境問題により、ようやく人間は人間以外の生物無生物と共に地球を生きるスタートラインに立ったのではないかと、思いが込められている。

山御講とは？  
 山御講(やまごこう)は、山の神を敬い、山仕事の安全や豊作を願う習わし。江戸期から続く山津見信仰は、遠く仙台や山形にも根づいた。各地の「講」では、代表が山津見神社に参拝し、おれを持ち帰って仲間配り、共同体の結びつきを支えた。



茶屋、屋台  
 虎捕太鼓  
 演劇上演  
 詩の奉納

その他 白狼面  
 絵付け体験など  
 ワーショッ  
 コーナーも！

大阪万博展示作品  
 本殿登山道入口にて  
 移設展示中！

山津見神社の狼信仰  
 狼は古くから、山の神の使者「御簀戸」として畏れ敬われ、田畑を荒らす獣を退け、農耕や人々の暮らしを守る存在とされてきた。山津見神社には、白狼の足跡を追って凶賊・横暴者を討つた伝承が残り、その信仰は拜殿を覆う二百四十枚の狼の天井絵や境内の狼石像にも表れている。

スポンサー・ボランティア募集  
 イベントスケジュール詳細

詳しくは  
 虎捕祭 webサイトへ！

